

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率 月次指標の早期推計：5月レポート

稲田義久 (APIR 研究統括兼数量経済分析センター長)
松林洋一 (APIR 上席研究員)
野村亮輔 (研究推進部)
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

● 6月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶ JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表2)、5月の訪日外客総数(推計値)は14万7,000人で、前月(13万9,500人)に引き続き10万人を超える水準となった(2019年同月比-94.7%)。ただし、5月の訪日外客数を1日あたりに均してみると、4,742人となり、2019年同月(8万9,455人)と比べれば、依然コロナ禍前を回復できていない。なお、同月の日本人出国者数は13万4,000人(同-90.7%)と前月(12万9,169人)から増加した。

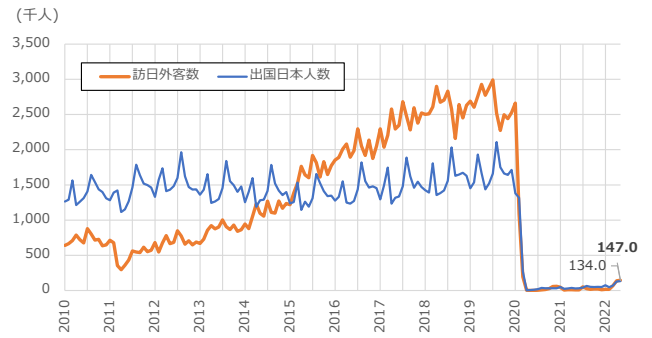
▶ 訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると、ベトナムが3万9,000人と最多であり、伸びは2019年同月比-2.3%と前月(同-46.1%)から大幅縮小した。次いで中国が1万7,600人、韓国が8,800人、インドネシア8,700人、米国が8,100人と続く。

▶ 目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば、3月は6万6,121人となった(2019年同月比-97.6%)(図2及び表3)。うち、観光客は3,371人(同-99.9%)、商用客は5,601人(同-96.6%)、その他客は5万7,149人(同-69.1%)であった。3月1日からビジネスや留学目的の外国人の新規入国が認められたことに加え、入国者数の上限緩和も影響し、その他客が前月(1万4,438人)から大幅増加した。結果、1-3月期の目的別訪日外客をみれば、観光客は5,019人(2019年同期比-99.9%)、商用客は8,338人(同-98.1%)、その他客は8万7,249人(同-83.3%)となった。

▶ 6月に入り日本の水際対策緩和が一層進展した。6月1日から1日当たりの入国者数の上限が1万人から2万人へと引き上げられた。また、10日からCOVID-19の流入リスクが低い米国など98カ国・地域を対象に添乗員付きの団体ツアー客に限定した形で、約2年ぶりに観光目的での外国人の新規入国を再開した。なお、2019年における観光目的の訪日外客の上位5カ国・地域(中国、韓国、台湾、香港、米国)の旅行手配状況をみれば、団体ツアーでの参加は、中国：30.3%、台湾：27.5%、韓国：13.0%、香港：9.5%、米国：6.8%となっている(図3)。

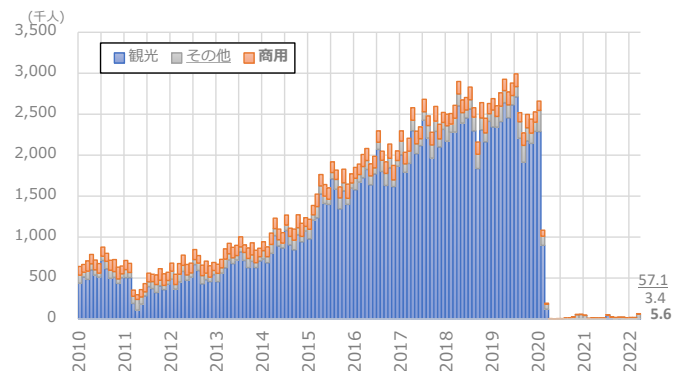
▶ 訪日外客数の先行きについては、7月以降、入国者数の上限引き上げなど水際対策の更なる緩和が検討されていることもあり、緩やかな回復がみこまれよう。ただし、コロナ禍前の観光目的での旅行手配は個別手配が主流であり、米国や韓国では80%以上を占める(前掲図3)。また、前述の団体ツアーの参加が比較的多い、中国や台湾も60%程度が個別手配である。このため個人旅行者の受け入れが再開されない限り、訪日外客数がコロナ禍前の水準を回復するにはしばらく時間を要するだろう。

図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



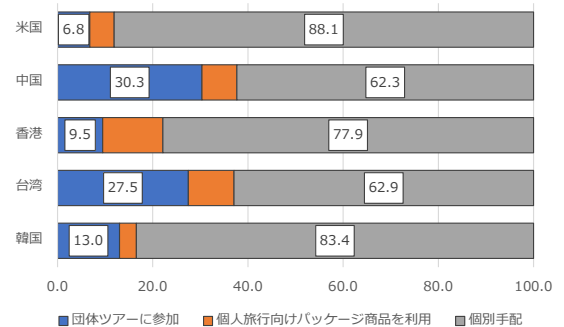
出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2020年まで確定値、21年、22年2-3月は暫定値、22年4-5月は推計値

図2 目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

図3 主要国・地域別観光目的旅行手配状況：2019年



出所:観光庁『訪日外国人消費動向調査 2019年』より作成

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020年11月公表分レポートより内容を一部変更していることにご留意ください。

トピックス 1

● 5月関西の財貨・サービス貿易及び4月のサービス産業動向

▶ 関西 5月の輸出は前年同月比+21.0%と15カ月連続で増加し、前月(同+10.2%)から加速した(図4)。また、輸入はエネルギー価格高騰の影響もあり、同+48.8%と16カ月連続で増加し、前月(同+22.2%)から加速した。輸入の伸びが輸出の伸びを大きく上回った結果、関西の貿易収支は-492億円と4カ月ぶりの赤字に転じた。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、関西5月の対中輸出は都市部におけるロックダウンが幾分緩和された影響もあり、前年同月比+12.6%と2カ月ぶりの増加に転じた(前月：同-6.8%)。輸出増に寄与したのは半導体等製造装置や非鉄金属等であった。また、対中輸入も同+30.9%と2カ月ぶりにプラスに転じた(前月：同-6.5%)。うち、輸入増に寄与したのは衣類及び同附属品や無機化合物等であった。

▶ 5月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は2万7,161人であった(2019年同月比-96.4%)。前月(2万1,616人)から増加し、2カ月連続で2万人を超える水準となった。ただし、前述したように入国者数を1日あたりに均してみれば876人となっており、19年同月(2万4,330人)と比べれば、依然本格的な回復には至っていない。また、日本人出国者数は1万1,122人で、前月(1万736人)から増加した(同-96.1%)。

▶ 4月のサービス業の活動はCOVID-19の感染状況が落ち着き、行動制限の緩和が進んだことから持ち直しの動きがみられた。サービス業の生産活動を示す第3次産業活動指数(季節調整済み:2015年平均=100)をみれば(図7)、4月は98.5で前月比+0.7%上昇し、2カ月連続のプラスとなった(前月：同+1.7%)。4月を1-3月平均と比較すると+1.2%上昇した(1-3月期：前期比-1.0%)。一方、対面型サービス業指数*は86.5と同-0.3%小幅低下し、2カ月ぶりのマイナス(前月：同+6.7%)。うち、運輸業(同-1.8%)が低下に寄与した。結果、1-3月平均比+2.2%上昇した(1-3月期：前期比+0.1%)。

▶ 観光関連指数**(2015年平均=100)は、78.9と前月比+2.5%上昇し、2カ月連続のプラス(前月：同+10.2%)(図7)。行動制限の緩和により、外出機会が増えたこともあり、飲食店、飲食サービス業(同+8.1%)や宿泊業(同+5.8%)がいずれも2カ月連続で改善した(前月：飲食店、飲食サービス業：同+4.0%、宿泊業：同+7.0%)。4月は1-3月平均比+7.0%上昇した(1-3月期：前期比-4.9%)

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

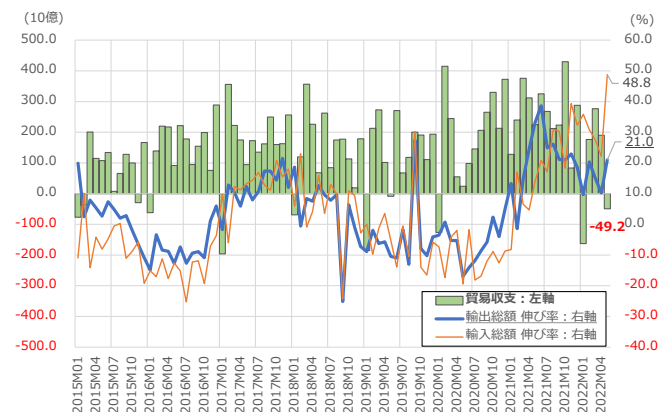
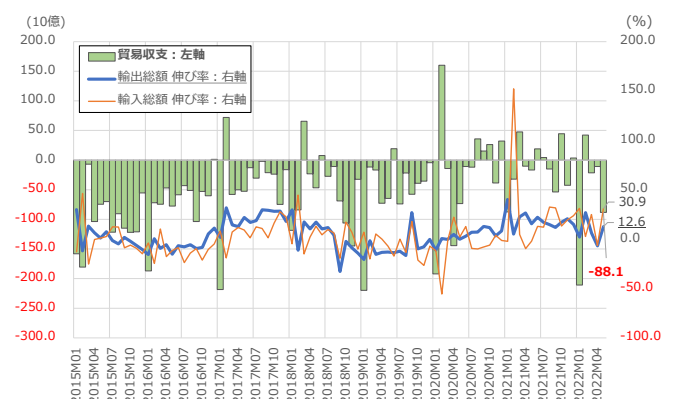
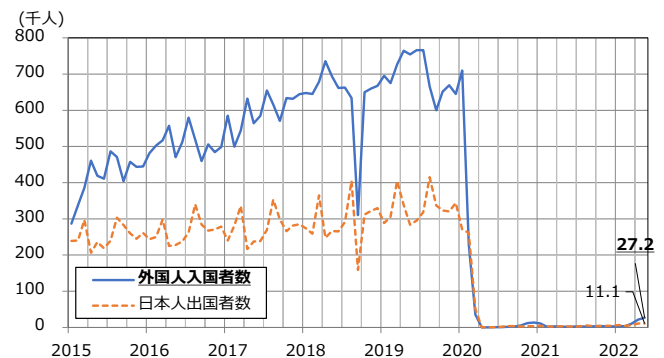


図5 関西 対中貿易の推移



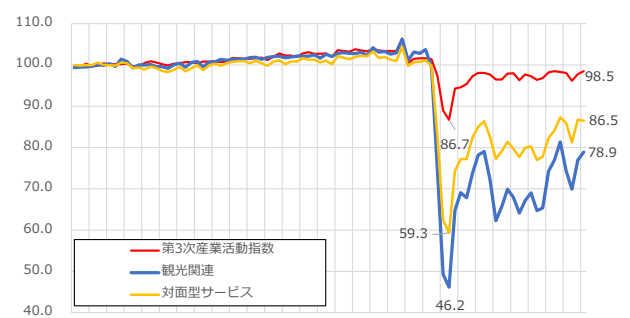
出所：「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所：出入国管理統計より筆者作成。2022年5月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業：2015年=100



出所：経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

●3月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、3月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は6,515.5千人泊であった(表1)。三重県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県へのまん延防止等重点措置が解除された影響もあり、2019年同月比は-39.7%と前月(同-52.9%)から減少幅が縮小した。

▶日本人延べ宿泊者数は6,464.5千人泊であった。2019年同月比-19.5%と前月(同-35.1%)から減少幅は縮小した(表1及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が2,063.3千人泊、京都府が1,581.6千人泊、兵庫県が1,020.1千人泊、三重県が623.2千人泊、和歌山県が301.2千人泊、滋賀県が269.9千人泊、福井県が200.3千人泊、奈良県が155.8千人泊、徳島県が127.6千人泊、鳥取県が121.5千人泊であった。

▶外国人延べ宿泊者数は51.0千人泊と、2019年同月比-98.2%減少した(前月：同-98.7%)(表1及び図9)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が28.1千人泊、京都府が14.8千人泊、兵庫県が2.4千人泊、三重県が1.3千人泊、和歌山県が1.2千人泊、滋賀県が1.1千人泊、奈良県が0.8千人泊、福井県が0.5千人泊、徳島県が0.4千人泊、鳥取県が0.3千人泊であった。

▶関西2府8県延べ宿泊者を居住地別で見ると(図10)、県内の延べ宿泊者数は1,498.9千人泊(2019年同月比+12.4%)、県外は4,846.6千人泊(同-45.8%)であった。3月21日にまん延防止等重点措置が全国的に解除されたことで、県内の増加幅は前月(同+4.4%)から拡大し、県外の減少幅(同-61.3%)は縮小した。

▶4月の全国延べ宿泊者数(全体、1次速報ベース)は33,799千人泊、19年同月比-33.4%と減少幅は前月(同-34.6%)から幾分縮小した。COVID-19の感染状況が落ち着き、各自治体において旅行需要喚起策の再開されたことや3年ぶりに行動制限のない大型連休もある等、先行き宿泊需要は回復が見込まれよう。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

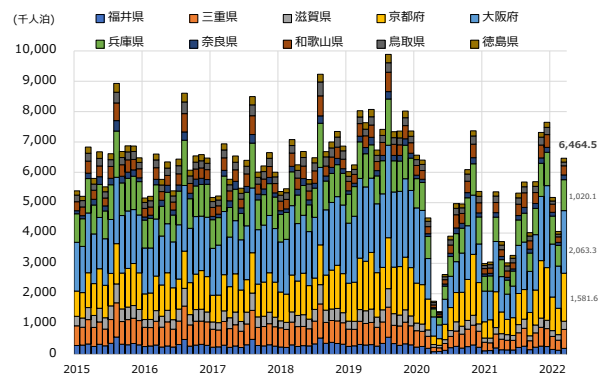


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

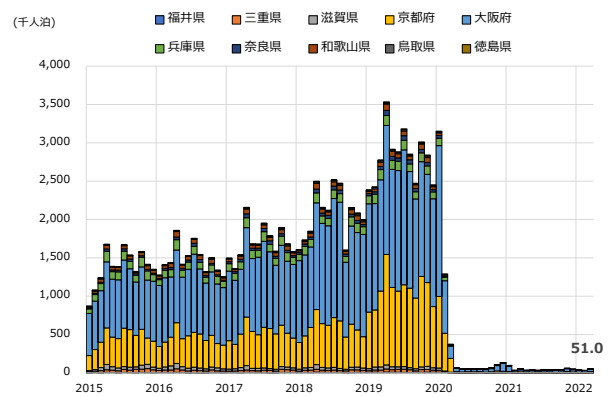
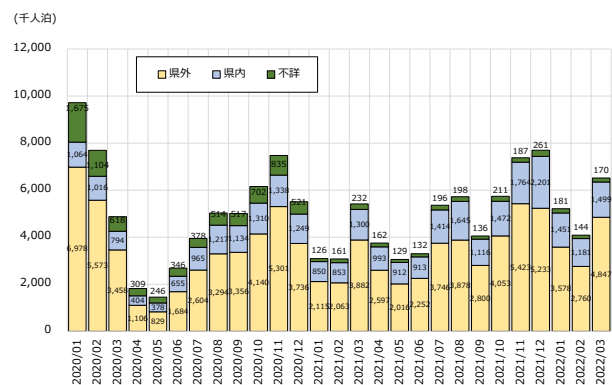


図10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率：3月

2022年3月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数： (千人泊)	伸び率： 21年比(%)	伸び率： 19年比(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	伸び率： 21年比(%)	伸び率： 19年比(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	伸び率： 21年比(%)	伸び率： 19年比(%)
福井県	200.8	-7.5	-40.1	200.3	-7.4	-39.1	0.5	-21.3	-91.9
三重県	624.5	36.0	-21.5	623.2	35.9	-18.4	1.3	107.9	-95.8
滋賀県	271.1	28.4	-36.4	269.9	28.8	-29.9	1.1	-25.5	-97.2
京都府	1,596.4	32.5	-40.5	1,581.6	33.8	-6.7	14.8	-33.0	-98.5
大阪府	2,091.5	24.8	-48.7	2,063.3	24.7	-21.5	28.1	35.7	-98.1
兵庫県	1,022.5	26.8	-23.7	1,020.1	27.2	-15.3	2.4	-49.8	-98.2
奈良県	156.5	4.4	-30.5	155.8	4.6	-15.9	0.8	-23.5	-98.1
和歌山県	302.4	-9.8	-35.7	301.2	-9.9	-27.2	1.2	41.0	-97.9
鳥取県	121.9	-42.5	-47.9	121.5	-42.5	-43.9	0.3	-59.5	-98.1
徳島県	128.0	-10.0	-41.6	127.6	-7.8	-38.4	0.4	-89.0	-96.5
関西2府4県	5,440.3	24.1	-41.0	5,391.9	24.5	-17.2	48.4	-5.0	-98.2
関西2府8県	6,515.5	20.4	-39.7	6,464.5	20.7	-19.5	51.0	-10.4	-98.2
全国	33,455.8	22.6	-34.6	33,125.2	22.6	-20.4	330.6	25.0	-96.5

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図8~10及び表1)

表2 2022年5月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)
	5月	5月		1-5月	1-5月	
総数	2,773,091	147,000	-94.7	13,753,573	387,100	-97.2
総数(韓国・その他除く)	2,075,407	104,000	-95.0	10,031,265	271,500	-97.3
韓国	603,394	8,800	-98.5	3,250,791	25,400	-99.2
中国	756,365	17,600	-97.7	3,651,814	53,600	-98.5
台湾	426,537	1,900	-99.6	2,019,764	8,300	-99.6
香港	189,007	700	-99.6	888,859	2,600	-99.7
タイ	107,857	2,900	-97.3	620,611	8,800	-98.6
シンガポール	37,650	1,200	-96.8	166,819	2,300	-98.6
マレーシア	42,629	1,600	-96.2	207,395	3,500	-98.3
インドネシア	30,107	8,700	-71.1	166,583	26,900	-83.9
フィリピン	59,578	6,700	-88.8	248,278	21,300	-91.4
ベトナム	39,900	39,000	-2.3	217,828	81,900	-62.4
インド	19,914	4,500	-77.4	77,581	14,100	-81.8
豪州	46,223	1,500	-96.8	289,623	3,600	-98.8
米国	156,962	8,100	-94.8	699,633	18,900	-97.3
カナダ	35,335	900	-97.5	158,367	2,300	-98.5
メキシコ	5,482	200	-96.4	25,948	700	-97.3
英国	31,642	1,900	-94.0	159,897	4,900	-96.9
フランス	30,863	2,000	-93.5	138,993	5,400	-96.1
ドイツ	21,552	2,200	-89.8	102,782	4,900	-95.2
イタリア	12,463	900	-92.8	63,411	2,400	-96.2
ロシア	9,971	500	-95.0	41,660	1,500	-96.4
スペイン	9,691	400	-95.9	47,096	2,100	-95.5
中東地域	5,679	600	-89.4	38,323	1,500	-96.1
その他	94,290	34,200	-63.7	471,517	90,200	-80.9

表3 2022年3月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)
	3月	3月		3月	3月		3月	3月		3月		
総数	2,760,136	66,121	-97.6	2,411,650	3,371	-99.9	163,242	5,601	-96.6	185,244	57,149	-69.1
韓国	585,586	6,694	-98.9	531,398	194	-100.0	29,901	751	-97.5	24,287	5,749	-76.3
中国	691,279	9,799	-98.6	587,480	271	-100.0	31,393	625	-98.0	72,406	8,903	-87.7
台湾	402,433	2,461	-99.4	381,537	87	-100.0	11,196	334	-97.0	9,700	2,040	-79.0
香港	171,430	488	-99.7	166,108	27	-100.0	3,491	87	-97.5	1,831	374	-79.6
タイ	147,443	2,165	-98.5	140,219	101	-99.9	3,718	561	-84.9	3,506	1,503	-57.1
シンガポール	43,687	294	-99.3	39,575	41	-99.9	3,444	85	-97.5	668	168	-74.9
マレーシア	50,615	569	-98.9	45,887	21	-100.0	2,508	184	-92.7	2,220	364	-83.6
インドネシア	39,609	5,486	-86.1	33,105	44	-99.9	2,506	91	-96.4	3,998	5,351	33.8
フィリピン	48,277	4,211	-91.3	41,263	291	-99.3	2,492	157	-93.7	4,522	3,763	-16.8
ベトナム	47,881	10,096	-78.9	20,138	108	-99.5	3,593	163	-95.5	24,150	9,825	-59.3
インド	17,752	2,279	-87.2	9,081	28	-99.7	5,703	164	-97.1	2,968	2,087	-29.7
豪州	47,658	134	-99.7	44,353	13	-100.0	2,495	31	-98.8	810	90	-88.9
米国	176,564	3,199	-98.2	147,532	697	-99.5	21,325	470	-97.8	7,707	2,032	-73.6
カナダ	37,959	362	-99.0	34,527	83	-99.8	2,187	58	-97.3	1,245	221	-82.2
メキシコ	5,740	165	-97.1	4,888	4	-99.9	541	10	-98.2	311	151	-51.4
英国	38,610	763	-98.0	31,516	152	-99.5	5,248	124	-97.6	1,846	487	-73.6
フランス	29,408	835	-97.2	22,799	119	-99.5	4,375	93	-97.9	2,234	623	-72.1
ドイツ	28,659	714	-97.5	21,715	129	-99.4	5,438	201	-96.3	1,506	384	-74.5
イタリア	14,956	394	-97.4	11,758	39	-99.7	2,463	94	-96.2	735	261	-64.5
ロシア	11,701	558	-95.2	9,106	37	-99.6	1,923	123	-93.6	672	398	-40.8
スペイン	8,916	262	-97.1	7,364	13	-99.8	1,039	47	-95.5	513	202	-60.6
中東地域	11,726	296	-97.5	9,865	21	-99.8	1,265	61	-95.2	596	214	-64.1
その他	102,247	13,897	-99.9	70,436	851	-100.0	14,998	1,087	-99.9	16,813	11,959	-99.3

注) 目的別訪日外客数の定義については、図2注参照。

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2022年6月15日付より筆者加工